

平成25年度第10回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成26年2月17日（月）10時00分～11時50分

場 所：熊本県立大学大会議室

出 席：学長 古賀 実  
副学長 半藤 英明  
事務局長 岡本 哲夫  
文学部長 山田 俊  
環境共生学部長 堤 裕昭  
総合管理学部長 松尾 隆  
地域連携・研究推進センター長 松添 直隆  
学術情報メディアセンター長 三浦 章  
環境共生学研究科長 北原 昭男  
熊本県公立高等学校長会会長 中西 眞也  
熊本日日新聞社新聞博物館長 平野 有益  
昭和女子大学大学院特任教授 渡辺 満利子  
オブザーバー：文学研究科長 村里 好俊  
アドミニストレーション研究科教授 吉村 信明

事務局：田代事務局次長、元島教務入試課長、安達学生支援課長、福永総務課長、花村企画調整室長、前田地域連携・研究推進センター事務長、野尻学術情報メディアセンター事務長、教務入試課阿蘇品班長、同課西本班長

1 開会（進行：田代次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

（1）審議事項

① 平成26年度入学者選抜における合格者の決定について

1) 私費外国人留学生入試

事務局教務入試課から、資料1-1に基づき、「私費外国人留学生入試は、各学科、募集人員若干名に対し、2名が志願、受験した。志願者の国籍は中国。志願のあった総合管理学部で合否判定を行っていただいた。」との説明があった。

続いて、総合管理学部長から資料1-2に基づき、「総合管理学科に2名が志願、受験したが得点が6割を超えた1名を合格とし、得点が6割に満たない1名については、不合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

2) 大学院文学研究科春季募集

事務局教務入試課から、資料1-3に基づき、「文学研究科日本語日本文学専攻博

士前期課程は、春季募集人員2名に対して、4名が志願、受験した。文学研究科英語英米文学専攻博士前期課程は、春季募集人員2名に対して、1名が志願、受験した。」との説明があった。

続いて、文学研究科長から、資料1-4に基づき、「日本語日本文学専攻博士前期課程については、基準点を上回っている一般選抜に志願、受験した1名と外国人留学生特別選抜に志願、受験した3名の合わせて4名を合格としたい。英語英米文学専攻博士前期課程は、基準を上回っている社会人特別選抜に志願、受験した1名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

### 3) 大学院環境共生学研究科春季募集

事務局教務入試課から、資料1-5に基づき、「環境共生学研究科博士前期課程は、春季募集人員若干名に対して、3名が志願、受験した。環境共生学研究科博士後期課程は、春季募集人員3名に対して1名が志願、受験した。」との説明があった。

続いて、環境共生学研究科長から、資料1-6に基づき、「博士前期課程については、基準点を上回っている一般選抜に志願、受験した2名のうち1名を合格とし、基準点に満たない一般選抜に志願、受験した2名のうち1名と社会人特別選抜に志願、受験した1名の合わせて2名を不合格としたい。博士後期課程については、基準点を上回っている一般選抜に志願、受験した1名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

### 4) 大学院アドミニストレーション研究科春季募集

事務局教務入試課から、資料1-7に基づき、「アドミニストレーション研究科博士前期課程は、秋季及び春季を合わせて募集人員20名に対して、春季には9名が志願、受験した。アドミニストレーション研究科博士後期課程については、秋季及び春季を合わせて募集人員4名に対して、1名が志願、受験した。」との説明があった。

続いて、アドミニストレーション研究科長から、資料1-8に基づき、「博士前期課程については、基準点を上回っている一般選抜に志願、受験した2名全員と社会人特別選抜に志願、受験した7名のうち5名を合格とし、基準点に満たない社会人特別選抜に志願、受験した7名のうち2名を不合格としたい。博士後期課程については、基準を上回っている一般選抜に志願、受験した1名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

## ② 平成26年度入学者選抜（大学院秋季入学）の実施方針（案）について

事務局教務入試課から、資料2に基づき、「平成26年度入学者選抜のうち、大学院秋季入学試験について、文学研究科博士後期課程の募集人員は、若干名で、選抜区分はなし。環境共生学研究科博士後期課程の募集人員は、若干名で、選抜区分は、一般

選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜。アドミニストレーション研究科博士後期課程の募集人員は、若干名で、選抜区分は、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜。文学研究科博士後期課程及び環境共生学研究科博士後期課程の選抜期日は、平成26年8月30日、合格発表は、平成26年9月8日。アドミニストレーション研究科博士後期課程の選抜期日は、平成26年7月12日、合格発表は、平成26年7月22日としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 平成27年度一般入試における旧教育課程履修者に対する経過措置について

事務局教務入試課から、資料3に基づき、「各大学の個別学力検査において、旧教育課程履修者が不利にならないよう、可能な限りの措置を講ずるよう文部科学省から通知があっている。本学一般入試における旧教育課程履修者に対する経過措置について、大学入試センター試験の利用教科・科目をセンター試験における経過措置に準じて選択できるようにすること。環境共生学部前期日程試験「理科」の個別学力検査については、旧教育課程に対応した別の問題は、作成しない。旧教育課程履修者も、新教育課程科目に対応した問題により受験させる。新教育課程の内容のうち、旧教育課程で履修していないものを出题する場合は、選択問題にする等の配慮を行う。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

④ 教員の採用に係る枠取りについて

1) アメリカ文学・文化

事務局総務課から、資料4に基づき、「6月の教育研究会議で審議いただいた同じ専門分野での枠取りとなるが、再公募を行いたいので改めて審議を行っていただくものである。文学部におけるアメリカ文学・文化を専門分野とする准教授または講師1名の枠取りである。枠取りの理由は、転出による退職教員の補充であり、平成27年4月1日の採用を予定している。」との説明があり、続いて山田文学部長から、「公募したが、応募者数が2名と少なく、かつ文学部が求めている水準に達している方ではなかったため、再公募させていただきたい。応募者数が少なかった理由については、応募時期と対象教員に求める業務内容が多すぎたのではないかと踏まえ、業務内容を、更には幅広い年代の方が公募できるよう職位も改めての採用を希望する。学生の人気が高い分野であり、できるだけ間をあげずに採用をお願いしたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

⑤ 学部長、研究科長、地域連携・研究推進センター長、学術情報メディアセンター長及び学科長・コース長の選考（案）について

古賀学長から、資料5に基づき、「平成26年3月をもって、現在の学部長、研究科長、地域連携・研究推進センター長、学術情報メディアセンター長及び学科長・コース長の任期が満了となるのに伴い、文学部長に砂野幸稔 現、文学部教授を、環境共

生学部長に堤裕昭 現、環境共生学部長を、総合管理学部長に黄在南 現、総合管理学部ビジネス・アドミニストレーションコース長を、文学研究科長に鈴木元 現、文学部日本語日本文学科長を、環境共生学研究科長に福島英生 現、保健センター長を、アドミニストレーション研究科長に荒木紀代子 現、総合管理学部地域・福祉ネットワークコース長を、地域連携・研究推進センター長に、松添直隆 現、地域連携・研究推進センター長を、学術情報メディアセンター長に半藤英明 現、副学長を、日本語日本文学科長に馬場良二 現、文学部教授を、英語英米文学科長に村尾治彦 現、文学部教授を、環境資源学科長に張代洲 現、環境資源学科長を、居住環境学科長に李祥嘉 現、居住環境学科長を、食健康科学科長に白土英樹 現、環境共生学部教授を、パブリック・アドミニストレーションコース長に小泉和重 現、総合管理学部教授を、ビジネス・アドミニストレーションコース長に丸山 泰 現、総合管理学部教授を、情報管理コース長に宮園博光 現、情報管理コース長を、地域・福祉ネットワークコース長に石橋敏郎 現、総合管理学部教授を選考した。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

また、古賀学長から、同時期に任期満了となるキャリアセンター長に松本直幸 現、環境共生学部准教授を、保健センター長に福島英生 現、保健センター長を指名したとの報告があった。

⑥ 平成26年度非常勤講師の採用について

事務局教務入試課から、資料6に基づき、平成26年度非常勤講師採用について、第9回教育研究会議（平成26年1月20日開催）時点で未定であったものについて採用案の説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

⑦ 熊本県立大学水銀研究留学生奨学金制度（仮称）の創設について

事務局学生支援課から、資料7に基づき、「熊本県が、水銀に関する水俣条約が採択されたことを受け、水銀の専門家育成の支援のための補助金を設けることとした。本学大学院と国立水俣病総合研究センターとが設置する連携大学院において、水銀に関する専門的研究を行う本学の外国人留学生の研究環境を整備することにより、水俣水銀条約を踏まえた水銀研究分野における国際的研究者の育成に資するため、県の補助金を財源として平成26年度より奨学金を創設したい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

⑧ 外国人留学生学費免除制度について（案）

事務局学生支援課から、資料8に基づき、「本学での研究を希望する外国人留学生の受け入れ環境を整備し、国際交流の活性化を促進する。併せて、本学学生のグローバルな視点や考え方を涵養し、『世界に伸びる』熊本県立大学の実現に資するための制度を平成26年秋入学者から適用できるよう導入したい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 平成26年度一般入試の出願状況について

事務局教務入試課から、資料9に基づき、各学部学科の前期日程、後期日程毎の志願者状況、志願倍率及び前年度との増減数について説明があった。また、平成20年度からの出願状況の推移、平成26年度センター試験科目別の平均点、都道府県別のセンター試験出願者数の増減、他大学の出願状況について報告があった。

4 その他

次回日程 平成25年度第11回 3月5日(水) 午前11時～本部棟2階大会議室

5 閉会